

身近な環境活動を自分たちの手で

高崎市立堤ヶ岡小学校

堤ヶ岡小学校では・・・

わたしたちの学校では、5, 6年生の環境委員、JRC委員が中心となり、全校で毎日の生活の中でできる環境活動を進めてきました。栽培活動や環境美化活動、リサイクル活動（令和4年度は、感染対策のため活動休止）、校舎内での環境活動などに取り組み、身の周りの環境に関心を持ち、大切にする意識を育てようと実践してきました。



環境委員による花壇・プランター作り

きれいに咲きそろった花壇

栽培活動

校庭にある花壇や玄関のプランターには環境委員が花を植え、緑を増やそうとする意識で育てています。季節ごとに花の苗を植え、委員会のメンバーが交代で水やり当番をしてきました。この活動は長年続けている伝統的な取り組みです。

また、体験を通して自然や環境を守る気持ちを育むため、学年の花壇には植物や野菜がにぎやかに育てられています。2年生はミニトマトやなす、きゅうり、ピーマンなどの野菜を育て、収穫できました。4年生のヘチマも大きく育ち、たくさんの実を付けました。ひまわり学級ではさつまいもを育てて収穫する予定です。



2年生の野菜畑



大きく育った4年生のヘチマ



2年生の栽培活動の掲示板

親子で奉仕作業

本年度も9月3日にボランティアによる奉仕作業が行われました。自分のたちの学校の環境を整える活動の一つとして、児童と保護者で協力して校庭や花壇を中心に作業を行っています。



親子でボランティアによる奉仕作業

ごみの分別

全校で協力してごみの分別を実行しています。さらに低学年にもわかりやすいようにゴミ箱の上に分別の名札を貼るなど、啓蒙活動をしています。

また、給食配膳室でも、毎回、給食委員が分別を呼び掛けて確認を行い、回収や処理を行っています。



分別収集のためのゴミ箱



給食配膳室の分別収集